

データセンター向け
データター

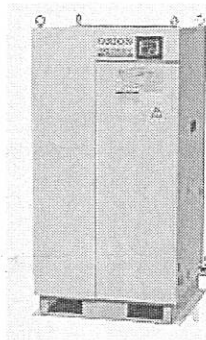
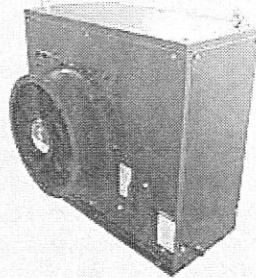
高頭熱型直膨空調機

0.5HFF 98F 新晃工業が開発

新晃工業（大阪市北区、社長・武田昇三氏）はこのほど、高頭熱型直膨空調機を開発した。

同社は大規模データセンター向けに、省エネ性に優れた「冷水型データセン

ター用空調機」を数多く納入している。一方、中小規模のデータセンターや改修案件においては、ヒートポンプ型のデータセンター用空調機のニーズが高まっている。そのため、蒸発温度が低い



高頭熱型直膨空調機
（上）が室内機（下）が室外機

が困難であるという問題があった。

こうした課題を解決し、ユーザーニーズに適切に対応するために、同社では高頭熱式直膨空調機」の開発をすすめてきた。

蒸発温度を高くすることによりSHFF10・九八という高頭熱比対応が可能となり、また、直膨空調機にも関わらず、吹出温度プラス・マイナス一〇度Cという

高い精度で、最適な温湿度管理を行うことができる。

さらに、壁吹出型、プラグファンとDCモータを組み合わせて、および合理的なパイプの配置によって階高を低くできるなどの省スペース化、送風機動力などの省エネルギー化を実現した。機器の外観は室内機・風量五千立方尺、全静圧三三九Pa、室外機（十馬力）冷却性能二十四キロワット